

第3回松本市アルプス公園魅力向上検討会議

令和5年1月22日（日）14:00~16:00

あがたの森文化会館 講堂1階ホール

【座長挨拶】

（発言者：原） 皆様こんにちは。座長を仰せつかっております原薫と申します。

新聞等でも皆様ご承知かと思うのですが、昨年の10月に10名の委員で構成された市民会議アルプス公園魅力向上検討会議が立ち上がりました。今日は会議を代表して4名がファシリテーター役として参加します。

検討会議では、未整備地も含めて南側入口一帯の活用方針を主な検討議題とはしておりますが、来年50周年を迎えるという、このアルプス公園のさらなる魅力向上に向けた方向性を議論し、今年の6月を目途に市長に提言を行う予定としております。

全国各地で、市民参画の公園づくりだとか、あるいは、グリーンインフラという言葉が最近よく耳にしますけれども、そういうものを中心としたまちづくりとが始まっています。

松本市も基本構想2030がありまして、私も委員になっていたりするのでございますけれども、そこでも松本市のシンカのためには、市民の主体的な参画が求められています。この検討会議でもですね、より多くの市民の方の意見をお聞きしたい、それを提言内容に反映したいということで、今回、市民参加のワークショップを開催することといたしました。今日の資料の最後に参考資料としてついていますが、先週15日の日曜日には、まつもと子ども未来委員会で、同じようにアルプス公園に対する様々な意見を出していただきました。本当にこれを子どもたちが出してくれたのかという、素晴らしい意見がたくさん出ているのですけれども、今日は、子どもたちにも負けられないような皆様からのご意見を出していただけたらなと思います。

そのまつもと子ども未来委員会の中から、今日は高校生の方に来ていただいております。それから信州大学、松本大学の学生の方。松本青年会議所のメンバーの中でも2、30代の若手の方。それから学校関係ということでPTAの役員をされている方。それからアルプス公園周辺にお住まいの住民の方。そして松本で事業をされている方。様々な方々にワークショップへの参加をお願いしたわけでありまして。参加をいただくに当たっては、多くの団体の方々にご協力をいただきました。改めて、この場をお借りし

てお礼を申しあげたいと思います。

今日は、先ほども申しあげましたように、自由な発言をしていただいて、夢物語でも結構だと思います。どういうふうの実現できるかはこれから考えていかなきゃいけないのですけれども、まずは色々な制約なく、皆さんから夢多い意見をたくさん出していただけたらなと思いますので、よろしく願いいたします。

【事務局説明】

(発言者：事務局 石井) お疲れ様です。事務局の総合戦略室の石井と申します。よろしく願いいたします。それでは、今日のワークショップの内容と進め方を説明させていただきます。

資料を前方に映してございますが、お手元にも同じ資料を配布していますので、そちらをご覧くださいながら聞いていただければと思います。

表紙の次のページですが、アルプス公園の特徴をまとめてみました。他の公園への差別化も含めて、特徴を5つ記載しています。

1つ目は、開園から約50年が経過するということ。来年はアルプス公園ができてから50年という節目の年に当たります。2つ目は、市民の方はもちろんですが、遠く市外からも多くの方が訪れる公園です。3つ目は、子供たちが遊べる遊具、フィールドが充実していること。4つ目は、街中近くで豊かな自然に親しめる場所であるということ。5つ目は、北アルプスと松本平を一望できる景色があること。この5つが大きな特徴かなというふうに思っています。

次のページでは、公園の全体図をお示ししています。赤い点線で囲っているところが、昭和49年に開園した南側開園部という言い方をしているエリアです。こちらは施設を充実させて、皆さんに楽しんでもらうエリアとして位置づけています。

赤い点線で囲った以外の右側のエリアが、平成19年に開園した北側拡張部で、こちらは自然活用を通して、皆さんに楽しんでもらうエリアです。

今日、皆さんにご意見やアイデアをいただきたいのは、左側の赤い点線で囲った南側開園部となります。

次のページからは、南側開園部の中のこういったエリアに、どのような施設があるかを写真で抜き出しています。

家族広場ですが、こちらはネイチャリングフェスタなどのイベントにも使われてい

ます。お弁当を広げて食べるということもあるかなと思います。ステージもあります。

次がピクニック広場で、公園の西側に面していて、非常に眺望が良いところです。

次が子ども冒険ひろばで、先週開催したまつもと子ども未来委員会の中でもお話が出ましたが、一番子どもたちに使われている、子どもたちを連れて行くエリアかなと思います。滑り台の後ろにはアスレチックや遊具があります。

次が水辺広場です。子ども冒険広場に隣接していて、特に夏場は、子どもさんたちはここで遊んでいるのかな。写真の左の奥の方を見ますとキッチンカーがあって、飲食物が売られている風景です。

次はドリームコースターです。こちらも子どもさんの利用が多いところです。アルプス公園は基本的に無料ですが、ドリームコースターは有料でお金をいただいている施設になります。

次が小鳥と小動物の森です。昨年8月にさる舎をリニューアルしています。右の写真は、リニューアル後の写真で、大きな窓からサルが見られるようになっています。来年度以降も順次施設をリニューアルしていく予定です。

次のページは、南側入口一帯の現状です。先ほども、原座長から未整備地という言葉が出てきましたが、マップの左上に青い点線で黄色く着色したところが、未整備地となります。その一角に展望広場もあります。この展望広場は耐震の数値が悪いということが分かりまして、現在、解体作業を進めております。この3月までに解体する予定でして、ここをどうしていくか、みんなで考えています。

それから未整備地ですが、こちらは砂利が敷いてありまして、ゴールデンウィークなどお客さんが多いときに臨時駐車場として使っています。非常に眺望が良いところですが、もっと良い活用方法がないか、みんなで考えています。

次のページが、公園の西側上空からドローンで撮影した写真です。未整備地ですとか、展望広場などの位置関係が分かりやすいため載せてございます。こちらのエリアについても本日、ご意見をいただければと思います。

今日のワークショップの進め方です。既に4つのグループに分かれていただいています。高校生、大学生、20代から30代の方、それからPTAの方、地元にお住まいの方、松本で事業をされている方が、それぞれグループの中にいらっしゃいます。まずは自己紹介をしていただき、それから、アルプス公園の魅力、課題、公園に対する希望、公園でやってみたいことの4つで、ご意見をいただければと思います。

お手元に付箋をご用意してございます。付箋に思っていることを書き出していただ

き、模造紙の地図の上に貼っていただければと思います。

最後にグループごとに、どんな意見が出たかを発表して共有したいと思います。

付箋の書き方ですが、テーマによって付箋を色分けしてください。後で整理をする際に分かりやすいと思います。

最初に付箋に書いていただく時間をとります。最後にまとめですが、こんなアルプス公園になったらいいなというテーマを付けてもらえるとありがたいなと。こちらも発表いただければと思います。

ワークショップをするに当たっては、5 つのお約束を守ると議論が活発になります。お互いの話をよく最後まで聞く。意見の否定はしない。面白い意見には便乗する。できない理由を考えるよりできるためのアイデアを考える。それから今日は、本当にお忙しい中、皆様に来ていただいています。全員が意見を出してご参加いただければと思います。

2時20分からワークショップを開始しますので、3時35分からは発表ができるようまとめていただければと思います。

グループごとの発表ですが、こんな公園になったらいいなというテーマとグループ内で出された意見を発表ください。

最後のページに参考資料をお付けしています。小学生18名、中学生14名、高校生5名の合計37名で構成されたまつもと子ども未来委員会で、先週、今日と全く同じワークショップを行った結果です。子どもたちの意見もぜひ参考にさせていただいて、ご意見いただけるとありがたいです。説明は以上になります。

(発言者：事務局) それでは説明をさせていただきました。それではまたワークショップを進める中で気軽に声をかけていただいても結構ですのでよろしくお願いいたします。それではワークショップの開催に先立ちまして、松本市アルプス公園魅力向上検討会議の委員の方々から、本日のファシリテーターを務めていただきます4名をご紹介します。それではその場でお立ちいただければと思います。

まずAグループのファシリテーターを務めていただきます須澤委員様でございます。須澤委員さんは学校法人才教学園の講師でいらっしゃいます。どうぞよろしくお願いいたします。

続きましてBグループのファシリテーターを務めていただく高山委員様でございます。日本ビオトープ管理士会の会長でいらっしゃいます。どうぞよろしくお願いいたします。

します。

続きましてCグループのファシリテーターを務めていただきます。座長代理の市川様でございます。前松本市教育委員会教育長職務代理者でいらっしゃいます。

どうぞよろしくお願いいたします。

最後にDグループのファシリテーターを務めていただきます先ほどご挨拶をいただきました座長の原様でございます。一般社団法人ソマミチ代表の理事でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

～ワークショップ～

【発表】

(発言者：事務局) それでは皆様大変お待たせをいたしました。それでは予定の時間となりましたので、まとめの時間に入ってまいります。少々まだ時間がというところは、作業を続けながら耳を傾けていただければと思います。

それでは各グループの発表をお願いしたいと思います。それでは、Aグループから発表をお願いしたいと思いますので、発表される方は、マイクを渡しますようお願いいたします。もし見えない方は移動していただいて、お近くに来ていただいても結構です。

(Aグループ) Aグループの意見を発表したいと思います。テーマは、大人も子どもも自然を楽しめる公園ということで話を進めていきました。では、どんな自然があるのかということをもとめてみたのですが、まずは、夜の星空が非常にきれいということでした。これあまり気づく人はいなかったのですが、実際見てみると、周りが真っ暗なので、非常に綺麗な星が長時間見られるということでした。

あとは、元々の展望広場もありますし、自然の中にございますので、眺望がいいということとか、植物とか花がたくさんあって、子どもたちも楽しめることがあげられます。

また、動物を近くで見られることもやはりあるかと思います。そういう自然がある中で、もっと自然を楽しむためにこんなものがあつたらなということで、例えば、冬

の期間も楽しめる公園や、先ほどの星空の話もあったように、季節ごとのものがあれば、より朝も昼も夜も楽しめると思います。

あとは、大人、高齢者の方がゆっくりできるような足湯なんかがあればもっと景色を見ながらゆったりと休まるじゃないかと思います。そういう足湯とかも楽しみながら、食べ物のレストランだったりとか、キッチンカーの数を増やしたりして、楽しむことができればと思っています。

こういうのがあったらいいなど、魅力がすごくたくさんあります。だけど、これを実現するためには何が必要かという話になって、やはり、最大は、誰もが気軽に行ける公園に、今そういう状態ではないが車がないとなかなか行きづらい。1日に朝と夕方に2便しか公共交通がないという状態で車がない私なんかは、ちょっと足も悪いし、自転車でも挑戦しづらいということで、公共交通をもっと増やして、市民だけではなく、インバウンドでも、結構欧米系の方はアルプス公園まで歩いたりする人は、実はいるのです。それぐらい魅力がある場所なので、誰もが行けるような公共交通をもっと充実してほしいなということ。

あと、やはり全体を交通として、近場のところでグリーンスローモビリティというものもあると紹介していただいて、足が悪い方も、せっかく駐車場まで来ても、眺望さえも見るできない。そういう方のために、例えば車椅子の貸し出しも必要だし、園内を電気自動車で移動できたらいいなっていう。こういうことを実現するためには私達の覚悟が必要じゃないかと思う。なんといってもお金がかかりますし、市民がどれだけそういう覚悟を持ってここに臨むか、将来こういう公園にしたいっていう、すごいもっと議論していったらこんな公園を残したいから、そのため私達は何ができるかということで、ボランティアだけではなく、システムを作りながら講演を維持管理していく覚悟は必要かなと思います。

いろんな世代に楽しんでもらえる公園になればと思います。ありがとうございました。

(Bグループ) グループBの発表を始めたいと思います。グループBのテーマは、手軽で全ての世代に開かれた公園です。まず、グループBで挙げられたのは、アルプス公園の魅力として親子で広々と遊べたり、無料で遊べたり、動物に触れることができたりすることです。

アルプス公園の課題として挙げられたのが、広すぎて移動手段がないであったり、

雨が降った時に遊べないであったり、あと、ご飯を食べられる場所がなかったり、ご飯を売っている場所がないので、お昼を持ってくる必要があるということです。

そこで、要望としては、アルプス公園内で自転車に乗ることができたり、飲食の提供する場所があったりするといいと思います。

また、遊び道具のレンタルや、アルプス公園の遊具が小学校低学年から中学年向けのものが多いので、もっと上の世代に対応したアクティビティを用意するのがいいと思う。それで最初に戻るのですが、グループBのテーマは、こちらの手軽で全ての世代に開かれた公園です。以上で発表を終わります。

(Cグループ) グループCの発表をさせていただきます。テーマは、全世代が充実した時間を過ごせる公園。もう一つは、身近で遊び心のある公園というのをテーマで上がりました。意見としましてまず公園の良い点ですね。自然を感じることができる、景色がいい。やはり眺望がいいというのは大変多く出ました。あと植生が多様であるとか、色々な植物があるという意見も出ました。

問題点としては、先ほども出ました交通の関係ですね、車で来る分にはいいけれども、バス等の公共交通機関が、午前午後の2便しかないというのは、来るうえでは大変かなという話も出ておりました。

あとは、食べ物に関しましても、今の時代、お弁当をつくってくる時代ではなく、その場で調達してみんな食べるということが主になっているので、何か買えるような施設があったらいいという話も出ました。

要望等に関しましては、冬季の間使えないとか、また天候によって使えないとということがあるので、その辺も改善の余地があるじゃないかという話。

また、施設や広場など、体を動かせるところはあるので、道具の貸し出しもあるといいだろうし、Wi-Fiの環境を整えていただければ、より多くの世代も使えるんじゃないかなと。

食事の話が出たのですけれども、キッチンカーなども多くあると良いのではないかなという話が出ました。

最終的にどうなってほしいかという部分に関しましては、うちのグループとしては未整備地に着目しまして、遊びや子育て世帯以外の方も利用できるように、ワーケーションの施設などをつくっていただいて、日常的に人が来るようなきっかけをつくった方がいいのではないかと、眺望がいいので展望カフェなどがあると利用しやすくなる

のではないかという意見が出ました。以上となります。

(Dグループ) Dグループでは、一年中一日中交流できる公園というテーマが出ました。交流ですが、人と人との交流や、人と自然との交流という意味で、一年中一日中交流できる公園というテーマにしました。出てきた意見としては、どのようにアルプス公園を利用していかかということや花壇をつくったりとか、夜の公園の活用としては星空の見学ができたり、あとは、交流という面では学生同士が勉強できるスペースがあったりとか、社会人の方々が、自然の中でのワーキングスペースとして利用できる場所としての公園利用があるのかなという点です。あとは、遊びとしては、やはりドリームコースターが楽しいということと、公園でレンタルできるものを多くして手軽に遊べるという公園を目指せたらいいということと、ワークショップ体験型のアクティビティができて、人と人との交流が公園内でできたらいいという意見が出ました。

あとは、癒しですけど、やはり公園の魅力である景色であったり、綺麗な桜であったり、そういった自然を見ながら癒しを感じられる公園であるのかなという意見が出ました。

あと大事にしたいのは、公園というのは若い世代の方や、高齢の方とか、様々な世代の方がいるので、そういった中での世代間交流というのは、一番やはり意識していないといけないのかなというのが大きなテーマとして出ました。

あとは、やはり飲食できるところがないので、そういった飲食ができて売店があった方が、一日中居られるという面では、そういった場所も必要なのではないかなという意見が出ました。

【座長講評】

(発言者：原) 皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。今うちの会社でも全社員の研修をしていて、どうやったら社員の主体性を引き出せるかみたいなことを目的としているのですが、文殊の知恵。どうしても役員さんとか、上の役員ばかりで考えがちですけど、実は多くの方が意見を出し合った方がいいものが出てくるというのを体感したばかりだったんですけど、まさにこの場はそんな感じだったなと。

一応選ばれた検討会議の委員の中で何とかしなきゃいけないという使命感はあるんですけど、いや、市民のための公園ですから、やはり市民の人たちから様々な意見を

出していただいた方が本当にいいものが出てくる、それを実感した、今日一日、今日の時間でした。

まとめということですが、発表が聞こえづらかった部分もあったので、これからきちんとまとめていかなきゃいけないと思うのですが、どのグループからも出てきているキーワードがいくつかあったかなと思います。

誰もが行きやすいことは、すごく大事なのかな。松本市の施設なので、もちろん外から来られた方たちにとっても魅力ある場所ではあるのですけれども、まずは、市の施設であるということは、市民があまねく素晴らしいものを享受できるような環境にするということでは、アクセスしにくいというところは、かなり問題があるかなというふうには思いました。交通の部分ですね。

それから、全世代が、これは、先週の子もたちの意見の中でも出てきているテーマではありましたが、あらゆる人がという部分。当初、子どもたちのためという目的で、種畜場から公園になったということがあったのですけれども、子どもに限定しなくて、世代の交流が促されるような、そういう場になったらいいという意見が多かった。まさに、それが今、求められていることなのかなと思います。

それから、広大な面積なので、しかも北部のエリアもできましたし。一日中そこで過ごせる、本当に過ごせないともったいないというか、でもそのためにも、飲食が提供できたらというのは、皆様が希望されていることなのかな。私たちのグループの中からも地場の産品を販売できたらというような意見も出たのですけれども。

私も名前を忘れてしまったのですが、長野市がやはり公園みたいなところを整備して建物などの、アクティビティもできる場所ができた。そこを見に行ったのですけれども、そこでも長野市内で生産されたもの、加工されたもの、そういうものがたくさん並んでいてとてもいいなど、飲食もできる場所もありました。この市内で生産されるなど、市内の企業さんであれば、それはむしろ市の経済の活性化にも繋がるのであればいいのかなというふうにも思いましたので、それは本当に多くの人たちが希望されていること、検討できたらいいのかなと思いました。

あとは、素晴らしい環境はあるのですけれども様々な制約があって、自由な体験というのですよね、そういうものが企画もできてないですし、もったいないところかなと。ハードの部分は、TOY BOXさんが、すごくきれいに整備してくださっていますけれども、そこで色々な体験ができるソフトの面というか、その辺の充実が結構求められるのかというふうには感じました。

今日出された意見を精査しながら、子どもたちの意見も拾い上げながら、いい提言ができたかなと思います。今日一日ありがとうございました。

【前澤部長挨拶】

本日は、本当にお忙しいところ、そして貴重な時間を割いていただき、このワークショップに参加をしていただきまして、本当にありがとうございました。

また原座長をはじめ、委員の皆さんにはファシリテーターを務めていただきまして、次の提言に繋げていただく今日は取り組みをしていただきまして、本当にありがとうございました。

私も最後の発表を聞いていて、キーワードの一つかなと思ったのは、先ほど原座長からも話がありましたが、大人も子どもも誰もが楽しめる公園。これが4グループ共通かなというふうに思っていました。アクセスの問題や施設の問題などは、たくさんあるとは思いますが一つ一つ、いろんなアイデアを用いて解決していければなというふうに感じております。今日4グループからいただいた意見を、また検討会議の方でしっかりと整理して、まとめていく、まだ、この検討会議はもう少し続きますので、年度が変わりまして6月ぐらいに、市長の方に提言をしていただくということだと思います。このアルプス公園は、私もこの松本で生まれ育った人間ですので、この公園が本当にこの松本のシンボルだというふうに思います。ぜひこれからも、本当に誰もが楽しめる公園に繋げていけるように、また、市としても取り組んでいきたいというふうに思いますので、引き続きよろしく願いをいたします。本日はどうもありがとうございました。